



## 平成 23 (2011) 年度 活動実績

開催期間 平成 23 年 04 月 30 日 ~ 平成 24 年 03 月 31 日

### ● 第 2 回中間支援人材育成セミナー開催

静岡県内の中間支援組織の役員・職員が参加



真剣に聞き入る参加者のみなさん



柔らかな物腰と熱い情熱で語る横田能洋さん

23 年 12 月 17 日、NPOサポート・しみずは静岡市清水市民活動センターを会場に、第 2 回中間支援人材育成セミナーを開催しました。12 月 10 日に開催した第 1 回セミナーに引き続き、静岡県内各地から、中間支援組織の役員や職員が参加しました。この事業は、ふじのくにNPO活動基金・新しい公共支援事業委託事業として開催したものです。

4 回連続で開かれる「中間支援人材育成セミナー」の第 2 回目講師をお願いしたのは、認定NPO法人茨城NPOセンター・ commons の横田能洋常務理事兼事務局長です。

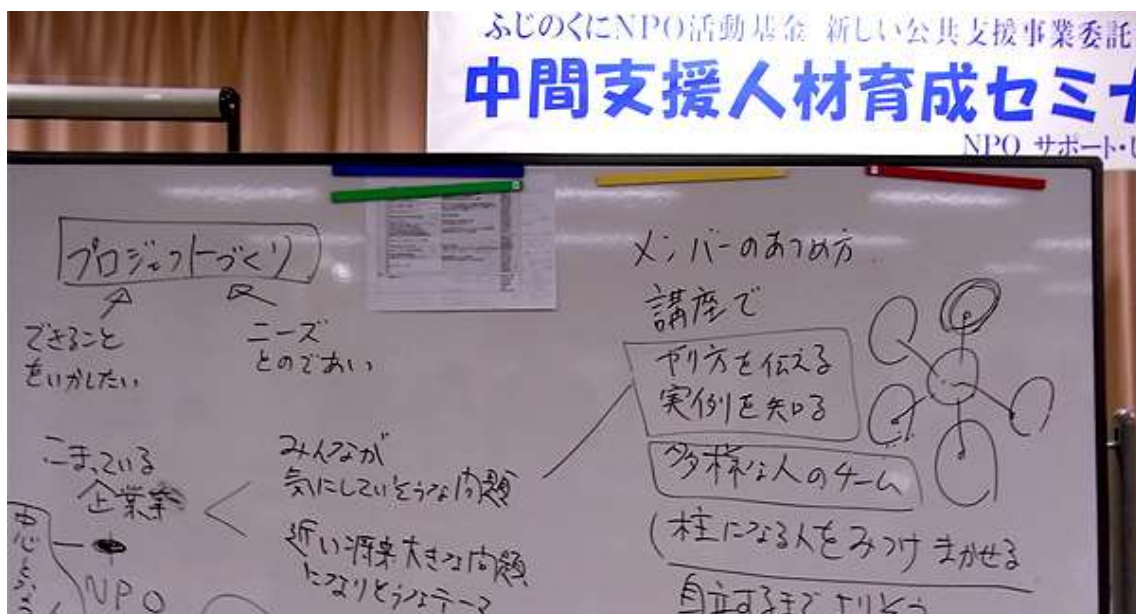
第 1 回目の日本NPOセンターの田尻佳史さんの、全体的なお話に引き続き、今回は現場でどのような中間支援事業を行っているかを学びました。横田さんは、茨城NPOセンター・コ



モンズを立上げ、どのように中間支援事業を行い、実績をつけてきたのか、13年間の経験を丁寧に語ってくださいました。地域の切実な課題を取り上げ、人を集め事業を立上げ、やがて団体として独立していけそうになると、手を離すというやり方で、課題を担える新しい団体をいくつも作ってきました。この一つ一つの経験が、参加者には大変参考になったことでしょう。

新しい公共支援事業は、行政とNPOだけでなく、いくつかのNPOと企業や様々な団体をつなぎ、国の予算を使って、こんなことがやれる、という大事な仕事であると話されました。その後、中間支援について、総合的な講義を行いました。

参加者から出された質問の一つ一つにも熱心に応えてくださいました。次回、1月14日に藤枝市生涯学習センターで開催する第3回セミナーでは、静岡県内での協働の事例を元にアドバイスいただくことと、マルチステークホルダープロセス、茨城県での円卓会議などをお話いただく予定です。



レジメや資料だけでなく、ホワイトボードにわかりやすく整理

(平成 23 年 12 月 18 日)





# 活動実績

特定非営利活動法人 NPOサポート・しみず

## ● 沼津市職員研修へ講師を派遣

沼津市役所企画部市民協働課から講  
され、沼津市職員協働研修に行ってきた  
年 12 月 14 日、沼津市水道局の講義室に  
職員 35 人が参加しました。NPOサポ  
谷千代美理事長、木村精治理事が講師を

最初に市民協働課の栗田明美課長が、  
旨を話されました。沼津市は現在、「沼  
関する基本指針」の策定を進めており、  
合計画の中でも、市民主体の協働のまち  
ています。そうした中、職員が、市民・各種団体・NPO・事業者などとの協働について、理解を深めていく  
必要があるとの事でした。



アイスブレイクの説明をする木村理事

師派遣の依頼を  
した。研修は 23  
で開催され、中堅  
ート・しみずの磯  
務めました。

挨拶で研修の主  
津市市民協働に  
第 4 次沼津市総  
づくりをうたっ



アイスブレイクで気持もほぐれ元気に発表

研修の進行は木村理事が務め、最初にアイスブレイクで、  
協働のイメージを書き出しているグループ討議と発表。その  
後、木村理事による協働についての講義、協働の事例など。  
磯谷理事長による協働の相手としてのNPOについての講  
義。最後に、「こんな協働をはじめたい」と、ワークショップ  
でグループ毎に提案を考え、発表していただきました。

発表された協働の提案は、ユニークなもの、すぐにでも  
始めたら良いなというものまで、様々で、職員の皆さんも、真剣にかつ楽しんで考えてくださったようです。  
NPOサポート・しみずとしても、他市の職員研修という経験をさせていただきました。行政職員が、市民と  
の協働について学び考える機会というのも大切で、企画してくださった沼津市市民協働課に感謝です。



様々な協働の提案が出されたグループ発表

(平成 23 年 12 月 16 日)



## ● 第1回中間支援人材育成セミナーを開催

23年12月10日、NPOサポート・しみずは静岡市清水市民活動センターを会場に、第1回中間支援人材育成セミナーを開催しました。この事業は、ふじのくにNPO活動基金・新しい公共支援事業委託事業として開催したものです。

最初に、NPOサポート・しみずの磯谷千代美理事長から、「新しい公共の考え方が広まり、地域の課題を解決していくために様々な団体をつなぐ、中間支援組織の役割がますます重要になってきます。今回のセミナーで学び、また中間支援組織同士の顔の見えるネットワークを作っていきましょう」と挨拶がありました。



挨拶する磯谷千代美理事長



力強くNPOの役割を語る講師の田尻佳史さん

4回連続で開かれる中間支援人材育成セミナーの第1回目講師をお願いした認定NPO法人日本NPOセンターの田尻佳史常務理事兼事務局長は、日本のNPOの歴史から始まり、中間支援組織の歴史、現在進められている新しい公共が目差すもの、期待されるNPOと中間支援組織の役割など、多岐にわたって初級の参加者にもわかりやすく説明しました。

参加者から出された質問の一つ一つにも田尻さんは熱心に答えをくださいました。

終了後のアンケートからも、参加者の満足度が高かったことがわかります。次回のセミナーが楽しみです。



講師への質問を真剣に書き込む参加者の皆さん

(平成23年12月12日)





# 活動実績

特定非営利活動法人 NPOサポート・しみず

## ● 季刊えぬさぼ 2号を発行



NPOサポート・しみず会報「季刊えぬさぼ2号」を発行しました。

(平成23年12月5日)



## ●中間支援人材育成セミナーを開催します

NPOサポート・しみずは、ふじのくにNPO活動基金・新しい公共支援事業で、「NPO等の活動基盤整備のための支援事業」に企画提案し、選定されました。

その具体化として、「中間支援事業の人材育成とネットワーク化」を目的に、中間支援人材育成セミナー「中間支援を始めよう！」を開催致します。対象は中間支援組織、又は今後中間支援事業を行おうとしているNPO法人や任意団体の皆さんです。詳しくは、事務局までお問い合わせください。

### ▼問い合わせ先

電話 054-340-1012    n-support@shimizu-s-center.org    担当 磯谷・佐藤

ふじのくにNPO活動基金 新しい公共支援事業委託事業

### 中間支援人材育成セミナー

# 中間支援を始めよう！

NPOの仲間たち 集いそして 地域力を高めよう

**初級編・全4回(無料)**

地域課題の解決には、行政、NPO、地域組織などの連携が欠かせません。それらの組織をつなぐ役割を持つ、中間支援組織の必要性が高まっています。中間支援活動には、そこに関わり、サポートする人材が活動連携の鍵を握ります。そこで、中間支援の役割や必要な人材となるスキルを学ぶ初級セミナーを4回連続で開催します。

毎回13時～17時

- 第1回 今、求められている組織は** 12月10日(土)  
講師 田尻佳史さん 日本NPOセンター常務理事・事務局長  
会場 ●静岡市清水市民活動センター
- 第2回 地域力を高める中間支援** 12月17日(土)  
講師 横田能洋さん NPO法人民権NPOセンター・CEJズ常務理事兼事務局長  
会場 ●静岡市清水市民活動センター
- 第3回 事例から学ぶ中間支援** 1月14日(土)  
講師 横田能洋さん  
会場 ●藤枝市生涯学習センター
- 第4回 中間支援をはじめよう** 2月11日(土)  
講師 横田能洋さん  
会場 ●静岡市番町市民活動センター

NPOサポート・しみず

(平成23年12月3日)



## ●新しい公共支援事業「NPO等活動基盤整備のための支援事業」に選定される

国の新しい公共支援事業は、平成 23、24 年度の 2 年間、NPO 活動の基盤整備や寄付募集などの支援、モデル事業をおこなっています。静岡県では、「ふじのくにNPO活動基金運営委員会」が設置され、運営委員会において具体化の方針を決め、事業募集や審査も行っています。

NPOサポート・しみずはNPO等活動基盤整備のための支援事業に応募しました。申請書類を提出し、8月29日開催の第4回運営委員会において、磯谷理事長がプレゼンテーションを行いました。5分のプレゼンと7分の質疑応答という限られた時間で、提案を説明しアピールしました。

この「県中部地域における中間支援事業の人材育成と中間支援活動連携基盤整備事業」が選定されました。市民活動センター事業とは別に、23年度後半で、「中間支援事業の人材育成とネットワーク化」を行います。具体的になりましたら、改めてご案内いたします。

平成 23 年 9 月 1 日      NPOサポート・しみず

(平成 23 年 9 月 1 日)





## ●西部パレット、浜松市市民協働センターを視察研修

平成23年7月17日、NPOサポート・しみずの会員と指定管理をしている清水市民活動センターのスタッフを加えた総勢8人の視察研修で、西部パレット、浜松市市民協働センターを訪問しました。

私たちの関心事は、それぞれ行政からどのような仕様書が出され、どのような事業を行っているか、ということです。合わせて、スタッフの人材育成や、県と市・町のセンターの役割の棲み分けにも興味がありました。



西部パレットは分かりやすい新聞記事展示をしています。

西部パレットでは、掲示がきちんとされていて、「私たちのセンターでもやってみたいね」という声があがりました。浜松市市民協働センターでは、「協働」に視点をあてたセンターとして、興味深い事業展開をしていました。どちらのセンター長さんも、資料をしっかりと用意してくださって、時間が足りなくなるくらいにいいに説明していただきました。

NPOサポート・しみずとして、みんなで行く研修は初めてです。往復のバスの中での交流も楽しく、「またどこか視察に行きたいね」という感想がありました。



浜松市市民協働センターの活動を聞きました。

(平成23年7月18日)





# 活動実績

特定非営利活動法人 NPOサポート・しみず

## ● 季刊えぬさぼ 1号を発行



NPOサポート・しみず会報「季刊えぬさぼ1号」を発行しました。

(平成 23 年 7 月 1 日)



## ●NPOサポート・しみず第3回定期総会を開催



総会ではプロジェクターを使って事業を分かりやすく報告しました。

平成23年6月12日、今年度のNPOサポート・しみず定期総会を開催しました。昨年4月1日から静岡市清水市民活動センターの指定管理を受託した1年間を振り返りつつ、磯谷理事長から事業報告がありました。事業報告は形式的なものになりがちなので、望月理事が、22年度事業を振り返る写真報告を作成しました。

総会ではプロジェクターを使って報告し、直接センター事業に関わっていない会員にもわかりやすいように工夫しました。鯉渕監事・水崎監事の監査報告があり、新年度方針を決めて閉会しました。

(平成23年6月13日)